

新居浜市子ども・子育て支援 に関するアンケート調査票

☆ アンケート調査へのご協力をお願い ☆

市民の皆様には、日頃から市政発展のために深いご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、平成24年8月に子ども・子育て関連3法が成立し、子ども・子育て支援法等に基づく「子ども・子育て支援新制度」が、早ければ平成27年度からスタートすることとなりました。

新居浜市では、これまで「新居浜市次世代育成支援行動計画」に基づき、様々な子育て支援に取り組んできましたが、当計画が平成26年度末で終了するため、新制度に基づく計画（仮称：新居浜市子ども・子育て支援事業計画）を新たに策定することに先立ち、平成27年度からの5年間における保育ニーズの見込み量や子育て支援に対するご意見・ご要望を把握し、計画に反映させるためのアンケート調査を実施いたします。

この調査は、市内で小学校入学前のお子さまがいらっしゃるご家庭の中から、無作為で2,500人を選ばせていただいたものですので、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。なお、ご回答いただきました内容は、すべて統計上の処理に用いられ、調査の目的以外に使用することはありませんのでご安心ください。

平成25年10月

新居浜市長 石川 勝行

※ ご記入の前にお読みください ※

1. このアンケートには、お子さまの保護者の方がご記入ください。
2. 黒または青のボールペン、濃い鉛筆等ではっきりとご記入ください。
3. このアンケートには、お名前を書きいただくことはありませんので、率直なご意見・ご要望をご記入ください。
4. それぞれの設問において、指定する数の○をつけていただくほか、数字や自由回答として具体的な内容をご記入ください。ただし、回答していただいた内容は、施設や事業を利用される場合の、実際の可否などを決定するものではありません。
5. 設問は、問1から問33まで（全25ページ）あり、おおよその目安として、15分程度かかることが見込まれますので、お時間のとれる時にご記入ください。
6. 誠にお手数ですが、ご記入いただいたこの調査用紙を同封の返信用封筒（切手不要）

に入れて、平成25年11月5日（火）まで【厳守】にご投函ください。

子ども・子育て支援新制度における基本的な考え方

子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行うことにより、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会の実現を目的としています。

子ども・子育ての支援にあたっては、保護者に子育てについての第一義的責任があることを前提に、保護者が子育てに対する責任を果たしつつ、子育ての権利を享受できるような支援を行います。

その際、地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援することや、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることできるような支援とすることを目指しています。

【問い合わせ先】 〒792-8585 新居浜市一宮町一丁目5番1号
新居浜市役所 福祉部
児童福祉課 保育係(アンケート調査担当)
☎0897-65-1242

※なお、本調査は新居浜市が「ジェイエムシー株式会社」へ業務委託しています。

《用語の定義》

この調査票における用語の定義は以下のとおりです。

- 幼稚園**：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- 保育所**：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- 認定こども園**：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- 地域子育て支援拠点事業**：概ね3歳未満の子と親が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています。
- 放課後児童クラブ**：学童保育などとも呼ばれ、保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の指導のもとで、子どもの生活の場を提供するものです。
- 放課後子ども教室**：地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。
- 子育て**：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援のことをいいます。
- 教育**：問11までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問12以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています。

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区（小学校区）のあてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|------------|-------------|------------|
| 1. 惣開小学校区 | 2. 若宮小学校区 | 3. 新居浜小学校区 |
| 4. 宮西小学校区 | 5. 金子小学校区 | 6. 金栄小学校区 |
| 7. 高津小学校区 | 8. 浮島小学校区 | 9. 垣生小学校区 |
| 10. 神郷小学校区 | 11. 多喜浜小学校区 | 12. 泉川小学校区 |
| 13. 中萩小学校区 | 14. 大生院小学校区 | 15. 角野小学校区 |
| 16. 船木小学校区 | 17. 別子小学校区 | |

封筒のあて名のお子さまとご家族の状況についてうかがいます。

問2 あて名のお子さまの生年月を数字でご記入ください。（数字は一枠に一字）

平成 年 月生まれ

問3 あて名のお子さまを含め、お子さまは何人いらっしゃいますか？

□内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字）

きょうだい数 人

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか？あて名のお子さまからみた関係でお答えください。（○は1つ）

1. 母親 2. 父親 3. その他（具体的内容： ）

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係について、次のいずれかの番号に○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問6 あて名のお子さまの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか？あて名のお子さまからみた関係でお答えください。（○は1つ）

1. 父母両方 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母
5. その他（具体的内容： ）

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 あて名のお子さまの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか？また、相談できる場所がありますか？次のあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる／ある ⇒ **問7-1へ** 2. いない／ない ⇒ **問8へ**

問7-1 問7で「いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さまの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|---|-------------------|-----------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人・知人 | 3. 隣近所の人 |
| 4. 地域の世話役 | 5. 民生児童委員（主任児童委員） | |
| 6. 保育所（園） | 7. 幼稚園 | 8. 小学校 |
| 9. 子育て支援施設（児童センター、放課後児童クラブ、地域子育て支援センター、つどいの広場など） | | |
| 10. 保健センター | 11. かかりつけの病院 | 12. 市役所の子育て関連窓口 |
| 13. その他（具体的内容： ） | | |

問8 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人や子育て支援に関わる施設など）からどのようなサポートがあればよいと思われますか？次のそれぞれの時期において、希望される具体的なサポート内容をできるだけ簡潔にご記入ください。

時 期	具 体 的 な 内 容
妊 娠 中	
出 産 後	
乳幼児期	
学 童 期	

あて名のお子さまの保護者の就労状況についてうかがいます。

問9 あて名のお子さまの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてうかがいます。

※母親と父親がいらっしゃる場合には、それぞれお答えください。

(1)【母親】あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度かつ1日8時間程度の就労）
で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（同上）で就労しているが、産休・育休・
介護休業中である
3. パート、アルバイト等（「フルタイム」に該当しない就労）
で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート、アルバイト等（同上）で就労しているが、産休・
育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

⇒ (1)-1へ

(1) - 1 (1)で「1～4」に○をつけた方にうかがいます。

週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、「出勤帰宅時刻」をお答えください。就労日数や就労時間等が一定でない変則的な勤務の場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。なお、産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。なお、時間は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。

（口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

※自営業の場合には、勤務開始時刻と終了時刻を記入。

1週当たり 日 1日当たり 時間

家を出る時刻 時 帰宅する時刻 時

(2) 【父 親】 あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

<ol style="list-style-type: none">1. フルタイム（1週5日程度かつ1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない2. フルタイム（同上）で就労しているが、育休・介護休業中である3. パート、アルバイト等（フルタイムに該当しない就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない4. パート、アルバイト等（同上）で就労しているが、育休・介護休業中である5. 以前は就労していたが、現在は就労していない6. これまで就労したことがない	⇒ (2)-1へ
--	----------

(2) - 1 (2) で「1～4」に○をつけた方にうかがいます。

週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、「出勤帰宅時刻」をお答えください。就労日数や就労時間等が一定でない変則的な勤務の場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。なお、育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。なお、時間は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。

（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

※自営業の場合には、勤務開始時刻と終了時刻を記入。

1週当たり	<input type="text"/>	日	1日当たり	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間
-------	----------------------	---	-------	----------------------	----------------------	----

家を出る時刻	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時	帰宅する時刻	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時
--------	----------------------	----------------------	---	--------	----------------------	----------------------	---

問 10 問9の(1)または(2)で「3～4」（パート・アルバイト等での就労）に○をつけた方にうかがいます。 ※該当しない場合は、問11へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。次のあてはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母 親

<ol style="list-style-type: none">1. フルタイム（1週5日程度かつ1日8時間程度の就労）への転換を希望しており、実現の見込みがある2. フルタイム（同上）への転換を希望しているが、実現は難しいと考えている3. パート、アルバイト等（フルタイム以外）の就労を続けることを希望している4. パート、アルバイト等（同上）をやめて、子育てや家事などに専念したい

(2) 父 親

1. フルタイム（1週5日程度かつ1日8時間程度の就労）への転換を希望しており、実現の見込みがある
2. フルタイム（同上）への転換を希望しているが、実現は難しいと考えている
3. パート、アルバイト等（フルタイム以外）の就労を続けることを希望している
4. パート、アルバイト等（同上）をやめて、子育てや家事などに専念したい

問 11 問 9 の(1)または(2)で「5～6（就労していない）」に○をつけた方にうかがいます。 ※該当しない方は、問 12 へお進みください。

就労したいという希望はありますか。次のあてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。（数字は一枠に一字）

(1) 母 親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労を希望していない）
2. 1年より先、一番下の子どもが □□ 歳になった頃に就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態
（ア. フルタイム（1週5日程度かつ1日8時間程度の就労）
イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
→1週当たり □日 ・ 1日当たり □□ 時間）

(2) 父 親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労を希望していない）
2. 1年より先、一番下の子どもが □□ 歳になった頃に就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態
（ア. フルタイム（1週5日程度かつ1日8時間程度の就労）
イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
→1週当たり □日 ・ 1日当たり □□ 時間）

あて名のお子さまの平日の「定期的」な教育・保育事業の利用状況について
うかがいます。 ※なお、「定期的」とは、利用回数に関係なく、年間を通じて
継続的に利用する場合をいいます。

問 12 あて名のお子さまは、現在、幼稚園や保育所などの「定期的」な教育・保育事業を
利用されていますか。次のいずれかの番号に○をつけてください。

※「定期的」な教育・保育事業とは、月単位で利用する幼稚園、保育所（園）、認可外保育
施設などの事業を指し、親族や知人による預かりは含みません。（以下同じ。）

1. 利用している ⇒ 問 12-1 へ 2. 利用していない ⇒ 問 13 へ

問 12-1 問 12 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

あて名のお子さまは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。年間
を通じて「定期的」に利用している事業のうち、次のあてはまる番号すべてに○
をつけてください。

1. 認可保育所
（国が定める最低基準に適合した施設で、都道府県等の認可を受けたもの）
2. 認可外保育施設（上記認可を受けていないもの）
3. 事業所内保育施設（企業が主に従業員のために運営する施設）
4. 幼稚園（通常の就園時間の利用）
5. 幼稚園の預かり保育
（通常の就園時間を延長して預かるもので、定期的な利用のみ該当）
6. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
7. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
8. その他（具体的内容： _____ ）

問 12-2 平日に「定期的」に利用している教育・保育事業について、現在どのくらい利
用していますか。また、今後の希望としてはどのくらい利用したいですか。次
の口内に具体的な数字をご記入ください。なお、利用したい時間帯は、必ず（例）
08時～18時のように24時間制でご記入ください。

（1）現 在

1 週当たり □ 日 1 日当たり □ □ 時間（ □ □ 時～ □ □ 時）

（2）希 望

1 週当たり □ 日 1 日当たり □ □ 時間（ □ □ 時～ □ □ 時）

問 13 現在、利用している・利用していないにかかわらず、あて名のお子さまの平日の教育・保育事業として、「定期的」に利用したいと考える事業について、次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担（料金はサービスによって異なる）が発生することを踏まえてお答えください。

1. 認可保育所
(国が定める最低基準に適合した施設で、都道府県等の認可を受けたもの)
2. 認可外保育施設（上記認可を受けていないもの）
3. 事業所内保育施設（企業が主に従業員のために運営する施設）
4. 幼稚園（通常の就園時間の利用）
5. 幼稚園の預かり保育
(通常の就園時間を延長して預かるもので、定期的な利用のみ該当)
6. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
7. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
8. その他（具体的内容： _____)

あて名のお子さまの土曜・休日や長期休暇中及び夜間における「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 14 あて名のお子さまについて、土曜日・日曜日及び祝日に、「定期的」な教育・保育事業の利用希望はありますか（ただし、一時的な利用は除きます）。次のあてはまる番号 1 つに○をつけ、希望がある場合には、利用したい時間帯を必ず(例) 0 8 時～1 8 時のように 2 4 時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生することを踏まえてお答えください。

(1) 土曜日

<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用を希望しない 2. ほぼ毎回利用したい 3. 月に数回は利用したい 		利用したい時間帯 <input type="text"/> 時から <input type="text"/> 時まで
--	--	---

(2) 日曜日及び祝日

<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用を希望しない 2. ほぼ毎回利用したい 3. 月に数回は利用したい 		利用したい時間帯 <input type="text"/> 時から <input type="text"/> 時まで
--	--	---

問 14-1 問 14 の(1)または(2)で、「3. 月に数回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎回ではなく、月に数回利用する理由は何ですか。次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませる必要があるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きをするため
5. その他（具体的内容： _____ ）

問 15 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

あて名のお子さまについて、夏休み・冬休みなど長期休暇中の教育・保育事業の利用を希望しますか。次のあてはまる番号 1 つに○をつけ、希望がある場合には、利用したい時間帯を必ず(例)08時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生することを踏まえてお答えください。

- | | | |
|---|---|---------------------------|
| <ol style="list-style-type: none">1. 利用を希望しない2. 預かり保育を実施している幼稚園に通っており、休みの期間中、ほぼ毎日利用したい3. 預かり保育を実施していない幼稚園に通っているが、休みの期間中、ほぼ毎日利用したい | → | 利用したい時間帯
□□ 時から □□ 時まで |
| <ol style="list-style-type: none">4. 預かり保育を実施している幼稚園に通っており、休みの期間中、週に数日利用したい5. 預かり保育を実施していない幼稚園に通っているが、休みの期間中、週に数日利用したい | → | 利用したい時間帯
□□ 時から □□ 時まで |

問 15-1 問 15 で、「4~5. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

毎日ではなく、週に数日利用したい理由は何ですか。次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数日の仕事が入るため
2. 毎日決まって済ませられない用事をまとめて済ませる必要があるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きをするため
5. 子ども同士で遊ばせる機会をつくるため
6. その他（具体的内容： _____）

問 16 あて名のお子さまについて、夜間（夜7時以降）における教育・保育事業の利用希望はありますか（ただし、「定期的」な利用のみ）。次のあてはまる番号1つに○をつけ、希望がある場合には、利用したい時間帯を必ず（例）19時～22時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生することを踏まえてお答えください。

1. 利用を希望しない
 2. ほぼ毎日利用したい
 3. 週に数日利用したい
- } → 利用したい時間帯
□□時から □□時まで

問 16-1 問 16 で、「2. ほぼ毎日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

ほぼ毎日利用したい理由は何ですか。次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 夜間の仕事をしているため（具体的内容： _____）
2. 日中済ませられない用事を、夜間にまとめて済ませる必要があるため
3. 終日、親族の介護や手伝い等が必要なため
4. その他（具体的内容： _____）

問 16-2 問 16 で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

毎日ではなく、週に数日利用したい理由は何ですか。次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数日、夜間の仕事が入るため（具体的内容： _____）
2. 日中に決まって済ませられない用事を、夜間にまとめて済ませる必要があるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため
4. その他（具体的内容： _____）

あて名のお子さまの病気の際の対応についてうかがいます。
 ※日常的に幼稚園や保育所（園）等を利用している方のみご回答ください。

問 17 平日の定期的な教育・保育事業を利用していると回答された方（問 12 で「1」に○をつけた方）にうかがいます。 ※利用していない方は、問 18 へお進みください。
 最近 1 年間に、あて名のお子さまが病気やケガで定期的な教育・保育事業が利用できなかったことはありますか。次のいずれかの番号に○をつけてください。

1. あった ⇒ 問 17-1 へ 2. なかった ⇒ 問 18 へ

問 17-1 あて名のお子さまが病気やケガで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、最近 1 年間に行った対処方法として、次のあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれ該当する日数を口内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も 1 日とカウントしてください。数字は一枠に一字。）

最近 1 年間の対処方法	日数(年間)
ア. 父親が仕事を休んだ	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
イ. 母親が仕事を休んだ	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
ウ. 親族、知人に子どもをみてもらった	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
エ. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
オ. 病児・病後児保育施設等を利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
カ. 認可外保育施設を利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
ク. 子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
ケ. その他（具体的内容： <input type="text"/> ）	<input type="text"/> <input type="text"/> 日

⇒ 問 17-2 へ

問 17-1 で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 17-2 その際、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と思われましたか。
 次のいずれかの番号に○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください
 （数字は一枠に一字）。なお、病児・病後児保育施設等の利用には、一定の利用者負担が発生することを踏まえてお答えください。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい 日（年間）
 2. 利用したいとは思わない

あて名のお子さまの「定期的」ではない教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用状況についてうかがいます。 ※「定期的」ではない＝不定期

問 18 あて名のお子さまについて、日中の「定期的」な保育や病気以外に、私用、親の通院、一時的な就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。次のあてはまる番号すべてに○をつけ、最近1年間のおおよその利用日数を□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

利用している事業	日数(年間)
1. 一時預かり（一時保育） （私用などで理由を問わずに保育所などを一時的に利用する事業）	□□ 日
2. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長して利用する事業で、不定期の利用のみ該当）	□□ 日
3. ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを一時的に預かる事業）	□□ 日
4. 休日保育事業 （日曜日及び祝日に子どもを預かる事業で、不定期の利用のみ該当）	□□ 日
5. 夜間養護等事業：トワイライトステイ （児童養護施設等で休日及び夜間に子どもを保護する事業）	□□ 日
6. その他（具体的内容： ）	□□ 日
7. 利用していない	

問 19 あて名のお子さまについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、今後1年間に何日くらい一時預かり等の事業を利用する必要があると思われますか。次のあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、それぞれ必要と見込まれる日数を□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用者負担が発生することを踏まえてお答えください。

1. 利用したい	合計 □□ 日
ア. 私用（買物、習い事、心身のリフレッシュなど）	□□ 日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、親の通院など	□□ 日
ウ. 不定期の就労	□□ 日
エ. その他（具体的内容： ）	□□ 日
2. 利用する必要はない	

問 20 最近 1 年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、家族の病気など）により、あて名のお子さまが泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。

次のいずれかの番号に〇をつけ、あった場合には、その場合の対処方法として次のあてはまる記号すべてに〇をつけ、それぞれ該当する日数を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

あり／なし	最近 1 年間の対処方法	日数(年間)
1. あった	ア. 親族、知人にみてもらった（同居者を含む）	□□ 泊
	イ. 児童養護施設（東新学園）のショートステイを利用した	□□ 泊
	ウ. 認可外保育施設等を利用した	□□ 泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	□□ 泊
	オ. 子どもだけで留守番をさせた	□□ 泊
	カ. その他（具体的内容： ）	□□ 泊
2. なかった		

問 21 あて名のお子さまは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談したり、情報提供を受けたりする場所のことで、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。次のあてはまる番号すべてに〇をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

1. 地域子育て支援拠点事業（親子が一緒に集まって過ごしたり、相談したりする場所） ⇒1 週当たり □□ 回 もしくは 1 か月当たり □□ □□ 回程度
2. 1 以外で、市において行われている類似の事業 （具体的な事業名：) ⇒1 週当たり □□ 回 もしくは 1 か月当たり □□ □□ 回程度
3. 利用していない

問 22 問 21 の地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは利用日数を増やしたいと思いませんか。
次のあてはまる番号 1 つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、材料代等の実費負担が発生することを踏まえてお答えください。

1. これまで利用したことはないが、今後利用したい ⇒1 週あたり <input type="text"/> 回 もしくは 1 か月あたり <input type="text"/> <input type="text"/> 回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい ⇒1 週あたり更に <input type="text"/> 回 もしくは 1 か月あたり更に <input type="text"/> <input type="text"/> 回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 23 下表に記載している事業名で知っているもの、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをそれぞれお答えください。

①～⑭の事業ごとにA～Cの各項目について、「はい・いいえ」のいずれかに○をつけてください。

事業名 / 各項目	A		B		C	
	知っている		これまでに利用 したことがある		今後利用したい	
①母親(父親)学級、育児学級 (保健センター)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
②保健センターの相談サービス等	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
③保育園の子育て相談等	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
④幼稚園の子育て・教育相談等	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑤家庭教育に関する学級・講座等 (地区公民館)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑥家庭児童相談室 (市の家庭相談)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑦地域子育て支援センター (朝日保育園、泉川保育園)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑧つどいの広場(にこちゃんパーク、ラトル)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑨児童センター・児童館 (中央、上部、瀬戸、川東)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑩子育てサロン(市社協)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑪ファミリー・サポート・センター	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑫こども発達支援センター	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑬子育て情報誌(ぱれっと等)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑭市のホームページ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ

あて名のお子さまが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。 ※5歳未満の方は、問28へお進みください。

問 24 あて名のお子さまについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思われますか。次のあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれに該当する日数を数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

また、「5 放課後児童クラブ」と答えた方は、利用を希望する時間を□内に数字でご記入ください。利用の時間は必ず(例)18時のように、24時間制でご記入ください。

場 所 等	日 数
1 自 宅	週 □ 日くらい
2 祖父母、親戚宅や友人・知人宅	週 □ 日くらい
3 習い事(ピアノ教室、スポーツクラブ(少年団)、学習塾など)	週 □ 日くらい
4 児童センター・児童館	週 □ 日くらい
5 放課後児童クラブ(学童保育) ※1	週 □ 日くらい ⇒下校時から □□ 時まで
6 放課後子ども教室 ※2	週 □ 日くらい
7 ファミリー・サポート・センター事業	週 □ 日くらい
8 その他 (具体的内容:)	週 □ 日くらい

※1 放課後児童クラブ …… 学童保育とも呼ばれるもので、保護者が就労等により昼間家にいない場合などに、指導員のもと、子どもの生活の場を提供するものです。利用する場合には、おやつ代等の実費負担が発生します。

※2 放課後子ども教室 …… 地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ文化活動などを体験するもので、保護者の就労の有無にかかわらず、すべての小学生が利用できます。

問 25 かなり先のことにはなりますが、あて名のお子さまについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思われますか。次のあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれに該当する日数を数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

また、「5 放課後児童クラブ」と答えた方は、利用を希望する時間を口内に数字でご記入ください。利用の時間は必ず(例)18時のように、24時間制でご記入ください。

場 所 等	日 数
1 自 宅	週 <input type="text"/> 日くらい
2 祖父母、親戚宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
3 習い事(ピアノ教室、スポーツクラブ(少年団)、学習塾など)	週 <input type="text"/> 日くらい
4 児童センター・児童館	週 <input type="text"/> 日くらい
5 放課後児童クラブ(学童保育) ※1	週 <input type="text"/> 日くらい ⇒下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
6 放課後子ども教室 ※2	週 <input type="text"/> 日くらい
7 ファミリー・サポート・センター事業	週 <input type="text"/> 日くらい
8 その他 (具体的内容：)	週 <input type="text"/> 日くらい

※1 放課後児童クラブ …… 学童保育とも呼ばれるもので、保護者が就労等により昼間家にいない場合などに、指導員のもと、子どもの生活の場を提供するものです。利用する場合には、おやつ代等の実費負担が発生します。

※2 放課後子ども教室 …… 地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ文化活動などを体験するもので、保護者の就労の有無にかかわらず、すべての小学生が利用できます。

問 26 問 24 及び問 25 で「5. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。あて名のお子さまについて、土曜日・日曜日及び祝日に放課後児童クラブの利用希望はありますか。

次のあてはまる番号 1 つに○をつけ、希望がある場合には、利用したい時間帯を必ず(例) 08～18時のように、24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、事業の利用には、おやつ代等の実費負担が発生することを踏まえてお答えください。

(1) 土曜日

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい 2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい 3. 利用する必要はない	} →	利用したい時間帯 <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> </div> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> </div> 時から <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> </div> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> </div> 時まで </div>
--	-----	---

(2) 日曜日及び祝日

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい 2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい 3. 利用する必要はない	} →	利用したい時間帯 <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> </div> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> </div> 時から <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> </div> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> </div> 時まで </div>
--	-----	---

問 27 あて名のお子さまについて、夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中における放課後児童クラブの利用希望はありますか。次のあてはまる番号 1 つに○をつけ、希望がある場合には、利用したい時間帯を必ず(例) 08～18時のように、24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、事業の利用には、おやつ代等の実費負担が発生することを踏まえてお答えください。

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい 2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい 3. 利用する必要はない	} →	利用したい時間帯 <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> </div> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> </div> 時から <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> </div> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> </div> 時まで </div>
--	-----	---

すべての方に、子どもと子育てに対するお考えについてうかがいます。

問 28 仕事と子育てを両立する上で大変だと感じることは何ですか。次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に大変だと感じることはない
2. 仕事で急な残業が入ってしまう
3. 自分が病気・ケガをしたときや子どもが急に病気になったときに代わりにみてくれる人がいない
4. 配偶者または家族の理解と協力が得られない
5. 職場の理解と協力が得られない
6. 子どものほかに面倒をみなければならない人がいる
7. 子どもを預かってもらえる施設（保育所、幼稚園など）が見つからない
8. 子どもと一緒に過ごす時間が少ない
9. その他（具体的内容： _____）

問 29 あなたが理想であると思われるお子さまの人数についてうかがいます。次の□内に数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。

理想の子ども的人数 人

問 29-1 問 29 で理想であると思われる子どもの人数より、実際的人数が少ない方にうかがいます。

理想の子ども的人数に満たない理由は何ですか。次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 今後出産を考えているが、現時点では理想の人数を満たしていないため
2. 経済的な負担が大きいため
3. 心理的・体力的な負担が大きいため
4. 自分や夫婦の生活の自由が制限されるため
5. 配偶者または家族の理解と協力が得られないため
6. 職場の理解と協力が得られないため（育児休業等の制度利用を含む）
7. 子どもが欲しいけど、できないため
8. 高年齢での出産に不安があるため
9. 健康面において問題があるため
10. その他（具体的内容： _____）

問 30 現在の子育てについてどのように感じられていますか。次のもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 子育てに喜びや楽しみを感じている
2. 子育てにやりがいや生きがいを感じている
3. 子育てに強い不安や負担を感じている ⇒ **問30-1へ**
4. その他（具体的内容： _____)

問 30-1 **問 30 で「3.子育てに強い不安や負担を感じている」に○をつけた方**にうかがいます。どのような理由で強い不安や負担を感じていますか。次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子育てや教育にかかる経済的な負担が大きいため
2. 仕事と子育ての両立が難しいため
3. 周囲に相談相手や手助けしてくれる人がいないため
4. 教育・保育サービスが利用しにくい
5. 自分のための時間が持てないため
6. 子どもの健康や発達に不安があるため
7. 子どもの教育やいじめが心配なため
8. 子どもに関する犯罪や事故が増加しているため
9. 地域医療体制に不安があるため
10. 安全な遊び場や児童館など、身近に子どもの居場所がないため
11. 安全に通園・通学ができる歩道や防犯施設等の整備が進んでいないため
12. 身近に自然や伝統文化とふれあう機会がないため
13. その他（具体的内容： _____)

問 31 あなたが一番望んでいる子育て支援策は何ですか。次の項目のうち、優先度が高いものから順番に3つまで□内に数字をご記入ください。

あなたが望んでいる子育て支援策（左から順番に）

□	□	□
---	---	---

1. 保育料（幼稚園を含む）の減免
2. 児童手当の増額など財政的な支援の充実
3. 乳幼児等医療費支援の拡大・充実
4. 保育所、幼稚園での延長保育の実施・充実
5. 保育所、幼稚園での一時預かりの実施・充実
6. 病児・病後児保育の実施・充実
7. 日曜日、休日における保育の実施・充実
8. 夜間における保育の実施・充実
9. 放課後児童クラブ（学童保育）、児童センター・児童館の整備充実
10. 地域子育て支援拠点の整備・充実
11. 安全に通園・通学できる歩道等の整備促進
12. 仕事と子育てが両立できる職場環境の整備・充実
13. その他（具体的内容： _____)

問 32 平成27年度から「子ども・子育て支援新制度」が本格施行されることを踏まえて、子育て支援全般に関するご意見・ご要望がございましたら、自由にご記入ください。

※《重要なお願い》

ここまでの質問項目については、「（仮称）新居浜市子ども・子育て支援事業計画」の策定作業における必須項目となりますので、記入漏れがないか、もう一度ご確認ください。

また、すべての項目に記入がない場合でも、無作為に抽出された2,500件の回収率を上げ、アンケート調査結果の精度を高めるため、お手数をおかけしますが、返信用封筒にてご返送くださいますよう、よろしくお願いいたします。

※ここからは自由回答となりますので、ご協力いただける方のみご記入ください。

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度の利用状況についてうかがいます。

問 33 あて名のお子さまが生まれたとき、父母のどちらかもしくは双方が育児休業を取得されましたか。

母親と父親のそれぞれについて、次のあてはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方は、その理由について、下欄の該当する数字〔 〕内にご記入ください。

母 親	父 親
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した（または取得中である）	2. 取得した（または取得中である）
3. 取得していない ⇒ 取得していない理由(下からあてはまる番号すべてを選んでご記入ください) 〔 〕	3. 取得していない ⇒ 取得していない理由(下からあてはまる番号すべてを選んでご記入ください) 〔 〕
1. 職場に育児休業をとりにくい雰囲気があった 3. (産休後に)早く職場に復帰したかった 5. 昇給・昇格に遅れが出そうだった 7. 保育所(または幼稚園)に預けることができた 9. 配偶者または親族にみてもらえた 11. 職場に育児休業の制度がなかった 13. 育児休業が取得できることを知らなかった 15. その他(具体的内容:	2. 仕事が忙しかった 4. 職場に復帰するのが難しい気がした 6. 収入が減って生活が苦しくなる 8. 配偶者が育児休業を取得した 10. 子育てや家事に専念するため退職した 12. 有期雇用のため、育児休業の対象外 14. 育児休業のことを知らずに退職した)

問 33-1 子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み、また満3歳になるまでの育児休業等の期間について、健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことを知っていましたか。次のあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問 33-2 問 33 で「2. 取得した（または取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。

※該当しない方は、以上で終了となります。ありがとうございました。

育児休業取得後に職場復帰しましたか。次のあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

母 親	父 親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した 2. 現在も育児休業中である 3. 育児休業中に離職した	1. 育児休業取得後、職場に復帰した 2. 現在も育児休業中である 3. 育児休業中に離職した

問 33-3 33-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいま

す。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所（または幼稚園）入所のタイミングでしたか、それ以外でしたか。次のいずれかに○をつけてください。

※年度初めの保育所（または幼稚園）入所希望で、1～2月頃に復帰して一時的に認可外保育所などを利用した場合も「1」に含みます。また、年度初めの保育所（または幼稚園）入所希望だったが、実際には保育所（または幼稚園）に入所できなかった場合も「1」を選んでください。

母 親	父 親
1. 年度初めの保育所（または幼稚園）入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった	1. 年度初めの保育所（または幼稚園）入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった

問 33-4 育児休業からは、実際にお子さまが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何か月のときまで取得を希望されていましたか。次の口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

母 親	父 親
(1) 実際の取得期間 <input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> か月	(1) 実際の取得期間 <input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> か月
(2) 希望の取得期間 <input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> か月	(2) 希望の取得期間 <input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> か月

問 33-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、希望としてはお子さまが何歳何か月のときまで取得したいと思われませんか。□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

母 親	父 親
<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> か月まで	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> か月まで

問 33-6 **問 33-4 で実際と希望の職場復帰のタイミングが異なる方にうかがいます。**希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 希望より早く復帰された方

母 親	父 親
1. 希望する保育所(または幼稚園)に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため 4. 人事異動等業務の節目の時期に合わせるため 5. その他 (具体的内容：)	1. 希望する保育所(または幼稚園)に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため 4. 人事異動等業務の節目の時期に合わせるため 5. その他 (具体的内容：)

(2) 希望より遅く復帰された方

母 親	父 親
1. 希望する保育所(または幼稚園)に入れなかったため 2. 自分や子どもの体調が思わしくなかったため 3. 配偶者や家族の希望があったため 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため 6. その他 (具体的内容：)	1. 希望する保育所(または幼稚園)に入れなかったため 2. 自分や子どもの体調が思わしくなかったため 3. 配偶者や家族の希望があったため 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため 6. その他 (具体的内容：)

問 33-7 問 33-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用されましたか。次のいずれかに○をつけてください。

母 親	父 親
1. 短時間勤務制度を利用した 2. 短時間勤務制度を利用しなかった	1. 短時間勤務制度を利用した 2. 短時間勤務制度を利用しなかった

問 33-8 問 33-7 で「2.短時間勤務制度を利用しなかった」に○をつけた方にうかがいます。

短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

母 親	父 親
1. 職場に短時間勤務制度をとりにくい雰囲気があったため 2. 仕事が忙しかったため 3. 短時間勤務にすると給与が減って経済的に苦しくなるため 4. 短時間勤務にすると保育所入所申請の優先順位が下がるため 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用したため 6. 配偶者または親族にみてもらえたため 7. 子育てや家事に専念するために退職したため 8. 職場に短時間勤務の制度がなかったため 9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかったため 10. その他 (具体的内容：)	1. 職場に短時間勤務制度をとりにくい雰囲気があったため 2. 仕事が忙しかったため 3. 短時間勤務にすると給与が減って経済的に苦しくなるため 4. 短時間勤務にすると保育所入所申請の優先順位が下がるため 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用したため 6. 配偶者または親族にみてもらえたため 7. 子育てや家事に専念するために退職したため 8. 職場に短時間勤務の制度がなかったため 9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかったため 10. その他 (具体的内容：)

問 33-9 問 33-2 で「2.現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

あて名のお子さまが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。それとも、必ず利用できる事業があっても、1歳になる前に復帰されますか。次のいずれかに○をつけてください。

母 親	父 親
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい

以上でアンケート調査は終了です。

最後まで調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

切手は貼らずに同封の返信用封筒に入れ、ご投函ください。